

ご利用者さまのおかげで、毎月 Unicef (ユニセフ) へ寄付をさせていただいています。

8月の寄付額 30,000円

累計金額 408,000円

暑い残暑はまだ続きませんが、彼岸を過ぎると夜が冷え込むようになります。体調管理にお気をつけて。



デイサービス八重桜 本店

フラダンス



フラダンスのボランティアさんに本店に来ていただくのは実に七年ぶりとの事で、当時を知っている方は懐かしく、初めてご覧になる方はワクワクしながら開演の時間を待ちました。ダンサーの方が登場すると盛大な拍手で出迎えます。まずは伝統的なフラから始まりました。本場さながらの雰囲気皆さま見とれておられます。フラダンスの間には懐かしの歌を皆で歌うコーナーもあり、大声での合唱も聞かれました。

そしていよいよ皆で踊る座フラのコーナーに。先生のお手本に合わせてリズムを取りながら手足を動かしていきます。最初は不安そうな方々も終わったころには良い笑顔で、満足感が滲んでいました。そして最後にサプライズも一つは本店名物職員の飛び入り参加での踊りの披露。これには会場一同大爆笑でした。もう一つは今月誕生日の方へのお祝いの歌とメッセージカードのプレゼント。受け取ったご利用者さまは嬉しそうに笑顔を見せておられました。

盆踊り

今年も八重桜夏祭りに向けて本店では盆踊りの練習をしてまいりましたが、残念ながら諸般の事情により延期に。そこで少しでもお祭りの気分を味わっていたべく、この日のレクリエーションは盆踊りを行いました。福岡の炭坑節、秋田のドンパン節、そして東京音頭。練習してきた三つを中心に皆さまに踊っていただきました。

毎年定番として踊っている炭坑節、ドンパン節の二つは皆さまもつ体が覚えていらっしゃる様子で、リズムに乗りながら楽し気に踊っておられる様子。踊りつつ歌を口ずさまれる様子を見てると祭りの情景が浮かんで来て、スタッフも一緒に踊りだしてしまいました。夏の終わりの盆踊り。お祭り気分になって楽しかったですとおっしゃるご利用者さまもおられました。

なお、現在本店では代替案として秋祭りの企画を計画しております。夏は過ぎても祭りは続きます。



入居者募集中

中・重度要介護者優先

令和7年4月オープン(予定)

全39戸

屋上庭園あり

ファミリーモア八重桜 系列施設見学できます!



時には皆と賑やかに
時には一人で静かに。

ヒューマンライクな暮らしがここにはある。



住宅型有料老人ホーム(デイサービス併設)
ファミリーモア八重桜 学園前館

所在地 〒631-0035 奈良県奈良市学園中2丁目

近鉄学園前駅徒歩6分

家計にやさしい 所得段階対応型軽料金制!!

所得段階	家賃	共益費	食費	計
1~5	37,000円	60,000円	48,000円	145,000円
6~	47,000円	70,000円	48,000円	165,000円

*介護保険自己負担1割~3割は別途必要です。

申込から入居までの待機中サービス

- ✓ 待機ポイント制度適用 1日1ポイント1,000円
- ✓ 八重桜介護タクシー(通院支援)
- ✓ 入居時の無料引越サービス付き(県内)

八重桜だからできる

先着30名



学園前館の特徴

- ✓ 看取り介護対応
- ✓ オンライン面会対応
- ✓ 365日24時間 医師によるオンコール対応
- ✓ 通院支援
- ✓ 理学療法士と作業療法士によるリハビリテーション
- ✓ 「レストラン*」にて家族と食事可能 *L・ファミリーモア八重の家1F

法人紹介

- ✓ 創業25年
- ✓ 市内6ヶ所8施設
- ✓ 地域包括介護事業を展開

お問い合わせ先 株式会社 八重桜

0120-273-205 受付時間 9:00~17:00



デイサービス八重桜 朱雀

「ポストへポイ」



朱雀館では様々なレクリエーションを実施していますが、中でも皆さまに人気のある「ポストへポイ」を実施させていただきました。ゲームは、手作りのポストにどれだけたくさんの手紙を入れられるかを二人で競い合うというシンプルな内容です。皆さま、楽しみながらも真剣に取り組まれて、周りからの応援の掛け声が絶えませんでした。シンプルな内容だけにゲームは白熱し、応援にも力が入ります。このようなレクリエーションでは皆さまの笑顔や活気ある場面を多く観ることができ、ゲームを通じた交流の中で一体感を感じます。今後も、レクリエーションを通じて共に楽しい時間と皆さまの笑顔をお届けできるよう努めます。

「夏祭り」

今年も大イベントの夏祭りを開催することができて嬉しく思います。季節の風物詩である夏祭りの雰囲気を感じていただくことで、皆さまの笑顔と交流を深めたいという思いから開催いたしました。

午前中は、お祭りのゲームに参加していただきました。射的、輪投げ、魚釣りなどですが、懐かしさもありません。笑顔で積極的に取り組まれました。昼食は、おにぎり、たこ焼き、チキンナゲット、フランクフルトを美味しく召し上がっていただきました。午後からは盆踊り大会です。身振り、手振りで曲に合わせて元気に踊り楽しんでいただきました。最後は、定番のスイカ割りです。皆さまから「久しぶりにお祭りを楽しめて嬉しかった」「笑顔が溢れる素敵な時間を過ごせました」といった感謝の言葉をいただきました。来年も、夏祭りにて楽しい時間を過ごしていただけるように企画していきたいと思っております。



デイサービス八重桜 押熊

「この色なあに？」



今月はこの色なあに？というゲームをしました。これはカードに色名が書いてありますが、書いている色名とは違う色で書いてあります。例えば「青」という文字を黄色で書いてあるというように。そのカードをスタッフが一枚ずつめくって、みなさんに文字の色を答えていただくゲームです。今回もスタッフがカードをめぐる度に文字の色は？と言いつつ進行しますが、皆さまはつい文字を読んでしまったためなかなか正解にはなりません。何度モルルをお話しし、お声掛けを行いながらゲームを進めていくと、皆さま要領が判ってこられたようで、正解されることが増えていきました。今後もアレンジをしながら進めていき、皆さまに楽しんでいただけたらと思います。

「夏祭り」

前日から紅白幕やちょうちんを飾る作業していると、ご利用者さまはとも気がなる様子で明日は何があるのか聞いてくださいました。夏祭りのことを伝えると、何をやるのかな？ 去年は何をしたかな？と周りの方とお話をしている声が聞こえてきます。乞御期待です。

さて当日、午前中は輪投げや千本引きなどのゲームです。欲しい景品に付いているひもがなかなか分かんず数本を少しずつ引く張つてみる方いましたが、当たった景品をとても喜んでくださいました。

お昼には焼きそばやおでんにおにぎりをたくさん召し上がっていただき、午後からは抽選会を行いました。番号を書いたボールを引いてもらうのですが、先に景品を見てから願つようにボールをとつてほしいです。欲しかった景品が当たった方はすごく喜んでくれました。来年も皆さまに喜んでいただけたらと思います。



デイサービス八重桜 平城

【夏祭り】



今年もお祭りの季節がやって参りました。ご利用者さまは朝起きてデイフロアに紅白幕や提灯を飾り付けられているのを見て、「今日は祭りかー」などと盛り上がりつつおられます。今年も射的・輪投げ・カタヌキ・たこ焼き屋の屋台を出しました。たこ焼きは毎年大人気で、今年もおかわりをされる程の大盛況でした。たこ焼きを作っている職員も三時間以上焼き続けて、汗だくになって大変そうでした。今年は新たにカタヌキ屋をしました。指先を使って型を抜く動作は難しく、三十名のご利用者さまが遊ばれて、成功したのはわずか二名だけでした。お昼からは恒例のスイカ割りと盆踊りを行い、最後は職員の「叩いて被ってじゃんけんポン」を行いました。普段から馴染みのある職員がゲームをしている姿を見て、ご利用者さまも職員も盛大に笑っておられました。今年ももうしばらく暑い日は続きますが、皆さまその笑顔・元気で乗り切りましょつね。

八重の家

【夏祭り】

お祭りの日の昼食は特別メニューです。今年のお祭り弁当の中身は、いなり寿司・ホタテの焼き物・唐揚げ・たこ焼き・カツオのタタキ・とろろ汁と豪華なお食事です。皆さまには大好評で、ペロッと食べられるご利用者さまもおられました。食後は、恒例のスイカ割りをして、屋台と大好きなカラオケを楽しみました。今年の屋台は、カップボールゲーム・千本釣りゲーム・射的・輪投げです。いつもの馴染みのある職員がゲームやカラオケを盛り上げており、ご利用者さまも大変楽しそうに遊んでいます。最後は職員の出しものです。いつも皆さまと関わっている職員二人でウクレレを披露しました。「茶色の小瓶」「アロハオエ」などを演奏し、ご利用者さまから盛大な拍手をいただきました。祭り終了後は、「楽しかった」「また来年も楽しみにしてるよ」などと有難いお言葉をいただきました。職員もお祭りの用意で大変でしたが、その言葉を聞いて来月の敬老会に向けてやる気が出てきたようです。



デイサービス八重桜 西奈良

【的当てゲーム】



本日は月に一度行っている「的当て」です。マジックテープをつけたピンポン玉を一定の場所から投げ、高得点数を狙います。ピンポン玉は軽くて腕力が弱い方でも投げやすいので人気のレクリエーションです。

皆さま、真ん中の二百点を目指してピンポン玉を投げますが、力み過ぎて遠くまで飛んで行ってしまいう人もおられました。何球か投げている内にコツを掴めたのか、百点や百五十点と高得点に当たる方が続々と増え、最終合計で六百点以上という高得点の方が沢山おられました。最後には職員も全員参加しました。職員は特別ルールで一メートル以上離れた所からの当てを行いました。が、中々当たらず。皆さまの声援を受け、十分経過してようやく男性職員が的にピンポン玉を当てる事が出来てゲーム終了。楽しい時間でした。

【夏祭り】

一年で一番大きなイベントの夏祭り。西奈良館では朝から夕方まで一日通して開催しました。男性職員は甚平、女性職員はアロハシャツを着て、いつもと違う装い。「涼しげでええやん」と見た目から夏を感じていただきました。ゲームではカラオケと千本引きをして楽しんでいただき、ワイワイと盛りあがりました。職員の出し物でも、皆さまには手拍子をしたり一緒に歌ったりと楽しんでいただけたと思います。昼からは恒例となっているスイカ割り。人生で初めてスイカ割りをされた方もいて、「目隠しは怖いけど、楽しいな」と笑顔。「こんな楽しかったのホンマ久しぶりやわ」と絶賛される方も。一日通してお疲れになったとは思いますが、何より楽しい時間を過ごしていただけて本当に良かったです。



社員投稿欄

ありがとう

福井 秀安



私は八重桜押熊館にて夜勤専従で在籍しております。今年の十一月で入職して丸二年になります。前職はサービス業をしており、退職後何か資格を取り、次の職業に生かそうと思い、ハローワークにて紹介いただいたのが実務者研修の職業訓練でした。訓練中の事業者説明会の時に、事務局長が説明に来てくださり、コロナ禍ではありましたが入職前に施設見学にも応じていただき、ご縁があって入職させていただくことになりました。介護士になり最初に感じたのは、ご利用者さまからお声がけいただく「ありがとう」のお言葉の多いことでした。ベッドから車椅子への移乗、トイレ介助や口腔、机の上のゴミ捨て、食事介助など、都度ご利用者さまから「ありがとう」のお声がけいただけることが最初の驚きでした。まだまだ介護士として勉強中ですので、少しでもご利用者さまが喜んでいただけるか、不安や不満もなく安心して過ごしていただけるよう日々精進していきたいと思っております。また特別なことはできませんが、ご利用者さまが日々穏やかに、笑顔で過ごしていただけるよう勤めていきたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。

ここからの遊歩道

資本は万能ではない、もっと大切なのは人である。資本の価値も、これを活用する人によって定まるのである。

洪沢 栄一

俳句教室発表句(敬称を略します)

咲き充ちて コスモスゆらぐ 寺苑かな

磯野 弘子

境内の可憐なコスモスに秋風が吹き渡る様子が感じられます

枝豆ビール 梅千しは 信号機かな

植田 平信

ほろ酔い気分は目の前の色の取り合わせも面白く感じるのですね

あぜ道に 咲いたコスモス 風に咲かれ

辻 貴久子

路傍にたくましく伸びたコスモスにも秋の気配を感じられます

複雑だ 敬老の日の プレゼント

清水 玉枝

祝われる側としては、老いの先を考えると複雑な気持ちです

ジーツと 深く顔見る 敬老の日

田中 葵

敬老の日は、これまでの人生を振り返ってみる機会でもあります

敬老の日 父母のおもかげ 身に感じ

西川 道子

かつての父母の年齢に近づくと、当時の父母の気持ちに分かります

枝豆で 一杯呑んで 命のび

中 薫

この一杯がもたらす幸福感が明日への活力になります

八重の家通信47

カフェの人気メニューの、ちらし寿司

介護食士 森村 政子

昨年、皆さまから好評を得た「ちらし寿司」を、今年は少しずつアレンジしました。四月には春のちらし寿司、六月にはケーキ寿司を提案させていただきました。

春のちらし寿司は、すし飯の上に菜の花とピンク色の桜でんぶで春を散りばめ薄焼き卵で包みました。薄焼き卵の上にはエビとアボガドをトッピングしています。薄焼き卵で包んでいるので中は見えませんが「中が見たくてめくってみたら、とっても綺麗だったわ!」「こんなちらし寿司もあるのね!」と喜んでいただけました。

ケーキ寿司は、セルクルですし飯を丸くし、錦糸卵と桜でんぶをのせ、スモークサーモン、エビ、マグロをトッピングしました。「今日は誰かの誕生日?(笑)」「子供に作ったら喜びそうね!」と楽しんでいただけました。

カフェでは食べる楽しみを感じていただくよう季節、彩、感動を大切にしています。次は、どんな「ちらし寿司」が出来るのかを楽しみにしてご来店ください。



認知症予防あれこれ 17

八重桜の代表って…

藤村 俊城

うちの西代表つたらすごいんです。人心を惹きつける天才ではないでしょうか。私も落ち込むことが多々あります。そんなある日、急に半年以上先の未来の仕事を任されたのです。私も組織の中で働く一員です、承認欲求が満たされアドレナリン全開、奮励努力しちやいますやん。

と、私のエピソードを書きましたが、心理学者のアドラーも「人から頼りにされることが幸せの一つ」と言っています。頼りにされることは「役割がある」ということです。老若男女、病気があろうが、全ての人が感じる「幸せ」ようするに「快」です。脳活性化リハビリの五原則の二つ「快」と「役割」を誰かから頼られることで達成できるのです。

中、重度な認知症患者さんの前では、「この人は何もできない」と思いますが、できることは多々あります。やっていただき、感謝を述べ。そういうことでも周辺症状の緩和が期待できます。